

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 MPC-22 P-1R (三菱カラーペーパー用発色現像補充液)  
会社情報 会社名 : 三菱製紙株式会社  
住所 : 〒130-0026 東京都墨田区両国 2丁目10番14号  
担当部門 : 技術環境部  
問い合わせ窓口 : イメージング事業部 IJ・フット営業部 (電話番号03-5600-1508)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性  
金属腐食性物質 : 区分1  
健康に対する有害性  
急性毒性 (経口) : 区分外  
皮膚腐食性/刺激性 : 区分2  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2  
\*危険/有害性の大きさ (区分) は、数字の小さいほど危険性/有害性が高い。  
\*記載のないものは、分類対象外または分類できない。

#### ラベル要素 絵表示



腐食性

感嘆符

注意喚起語 警告

危険有害性情報 金属腐食のおそれ (区分1)  
皮膚刺激 (区分2)  
強い眼刺激 (区分2)

#### 注意書き

##### 【予防策】

他の容器に移し替えないこと。保護眼鏡/保護面を着用すること。  
保護手袋を着用すること。取扱い後はよく手を洗うこと。

##### 【対応】

物的被害を防止するために流出したものを吸収すること。  
皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診断/手当てを受けること。  
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して  
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼  
の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。  
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。

##### 【保管】

堅い内張りのある防腐容器に保存する。

### 3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
一般名 : 発色現像補充液

成分及び含有量	化審法	CAS No.	含有量%
炭酸カリウム	(1)-153	584-08-7	7-15
ポリエチレングリコール類	(7)-129	25322-68-3	3-7
有機酸ナトリウム塩	(2)-3631	133986-51-3	1-5
水酸化ナトリウム	(1)-410	1310-73-2	<1
トリエタノールアミン	* (2)-308	102-71-6	1-5
硫酸カリウム	(1)-454	7778-80-5	1-5
p-フェニレンジアミン誘導体	(3)-317	92-09-1	1-5
エチレンジアミン四酢酸四カリウム塩	(2)-1265	5964-35-2	1-5
水酸化カリウム	(1)-369	1310-58-3	<0.1
水	対象外	7732-18-5	60-80

\*：安衛法通知対象物質

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸し易い姿勢で休息させて下さい。医師に連絡して下さい。
- 皮膚に付着した場合：皮膚を流水／シャワーで洗って下さい。ただちに皮膚を多量の水で洗って下さい。刺激が強まったり、続く場合には医師の手当てを受けて下さい。汚染された着衣は、再度使用する前に洗濯して下さい。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗って下さい。コンタクトレンズをしている場合は、可能なら外し、その後も洗浄を続けて下さい。眼の刺激が続く場合、眼科医の診断／手当てを受けて下さい。
- 飲み込んだ場合：水で口の中を良く洗ったのち、医師の手当てを受けて下さい。コップ1～2杯の水、を飲ませ、胃内で薄めても良いです。但し、かえって危険が増すため吐き出させてはなりません。
- 応急措置をする者の保護：救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用して下さい。

#### 5. 火災時の措置

- 消火剤：散水、炭酸ガス、粉末消火器、泡消火器等
- 使ってはならない消火剤：通常の条件下では、不適切な消火剤はない。
- 特定の消火方法：周辺火災の場合、可能ならば移動可能な容器は速やかに安全な場所に移して下さい。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させて下さい。漏出した物質や消火用水等が、河川等に排出されないよう配慮して下さい。
- 保護具等：消火の際は適切な保護具（自給式呼吸器具、及び完全保護具等）を着用して下さい。熱により成分が分解してCOx、NOxガスが発生する場合があります。風上から消火活動を行って下さい。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項  
保護具及び緊急時措置  
環境に対する注意事項  
除去方法：適切な保護具（保護眼鏡、保護手袋等）を着用して回収して下さい。
- ：薬品が河川等に排出されないように注意して下さい。
- ：漏洩した薬品を適切な方法で回収したのち、漏洩箇所を大量の水で洗い流して下さい。回収したものを廃棄の場合は関係法令に従って下さい。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 安全取扱い注意事項  
技術的対策：皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにして下さい。取扱い後に、手や顔等をよく洗って下さい。
- 局所排気・全体換気  
注意事項：作業場は換気を充分に行って下さい。
- 保管：作業後には、手、顔等をよく洗って下さい。
- ：直射日光を避け、涼しい場所に置いて下さい。十分な強度を有するプラスチック容器を使用して下さい。開封後は全量使い切ってください。子供の手の届くところには置かないで下さい。

#### 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策：換気扇による強制換気を行って下さい。また、作業場の近くには手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手や顔をよく洗って下さい。
- 管理濃度 安衛法管理濃度：未設定
- 許容濃度 日本産業衛生学会：水酸化カリウム 2mg/m<sup>3</sup>（最大）、水酸化ナトリウム 2mg/m<sup>3</sup>（最大）
- ACGIH/TLV：水酸化カリウム 2mg/m<sup>3</sup>（TWA）、水酸化ナトリウム 2mg/m<sup>3</sup>（TWA）
- ：トリエタノールアミン 5mg/m<sup>3</sup>（TWA）
- 保護具 呼吸器：適切な呼吸用保護具
- 手：不浸透性保護手袋
- 眼：保護眼鏡、及び顔面保護具
- 皮膚及び身体：保護衣

#### 9. 物理的及び化学的性質

- 形状：液体
- 色：濃黄色
- 臭い：無臭
- pH：13.2（25℃）
- 融点：< 0℃
- 沸点：> 100℃
- 引火点：引火性はない
- 自然発火温度：通常の取扱いでは安定
- 燃焼又は爆発範囲：データなし（上限、下限）
- 分解温度：データなし
- 蒸気圧：データなし
- 蒸気密度：データなし
- 比重：1.19（相対密度）
- 溶解度：水に易溶
- n-オクタノール／水分配係数：データなし

## 1 0. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取扱い条件では安定である。  
反応性 : 特になし。  
避けるべき条件 : 直射日光、凍結  
混触危険物質 : 特になし。  
危険有害な分解生成物 : 窒素酸化物、一酸化炭素、炭酸ガス  
その他 : 金属を腐食する。

## 1 1. 有害性情報

急性毒性 : LD50 >2000mg/kg (ラット経口)  
皮膚腐食性/刺激性 : 刺激性あり  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 強度の刺激性  
呼吸器感受性又は皮膚感受性 : データなし  
発がん性 : IARC (国際がん研究機関) のランク [1;2A;2B] 物質の有無 : 該当物質なし

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性 : データなし  
残留性・分解性 : データなし  
生体蓄積性 : データなし

## 1 3. 廃棄上の注意

自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上、産業廃棄物処分量の許可を受けた業者に産業廃棄物管理票 (マニフェスト) を添えて、運搬、処理を委託して下さい。  
廃棄時に該当する法規【廃棄物処理法：産業廃棄物 (廃アルカリ)、水質汚濁防止法：生活環境項目、下水道法：下水の排除の制限】  
原液のまま廃棄する場合は特別管理産業廃棄物 (廃アルカリ) に該当しますので、特別管理産業廃棄物処分量の許可を受けた業者に、特別管理産業廃棄物管理票 (マニフェスト) を添えて、運搬、処理を委託して下さい。  
汚染容器・包材 : 内容物を完全に除去した後処分にして下さい。

## 1 4. 輸送上の注意

船舶輸送は危規則の規定に従って下さい。航空輸送はIATA規則の規定に従って下さい。  
国連番号 : UN1719  
国連分類 : クラス 8  
容器等級 : III  
緊急時応急措置指針番号 : 154

## 1 5. 適用法令

安衛法 (通知対象物質) : トリエタノールアミン  
化管法 : 非該当  
毒劇法 : 非該当  
消防法 : 非該当  
船安法 : 腐食性物質 (クラス 8)  
航空法 : 腐食性物質 (クラス 8)

## 1 6. その他の情報 (記載内容の問い合わせ先、引用文献等)

本シートの内容は発行時における知見に基づいて作成したものです。作成の目的は製品の安全に関わる情報を提供するものであって、性能・品質を保証するものではありません。記載事項は今後の知見により改訂されることもあります。記載内容の内、含有量・物理化学的性質などの値は保証値ではありません。注意事項は通常の実施を対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点をご考慮願います。危険・有害性の情報は必ずしも充分でないため、取扱いには充分注意して下さい。本 SDS に記載のラベル要素は、実際の製品には表示されない場合があります。